

**JASDAQ**

2019年6月27日

会社名 テクノホライズン・ホールディングス 株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸
(JASDAQ・コード 6629)

問合せ先
役職・氏名 常務取締役 水上 康
電話 052-823-8551

文教向けベーシックプロジェクターPD-350XP 販売開始のお知らせ (当社連結子会社：株式会社エルモ社)

当社の連結子会社である株式会社エルモ社が、DLP方式/XGAパネル、3,500ルーメンのベーシックプロジェクター「PD-350XP」を2019年9月から販売開始することをお知らせします。



ベーシックプロジェクター「PD-350XP」：オープン価格

先般公表された経済協力開発機構（OECD）による「国際教員指導環境調査」（2018年に48カ国・地域の小中学校を対象に調査実施）によれば、ICTを「いつも」または「しばしば」活用させている割合は、中学で17.9%（下から2番目）、小学校で24.4%（下から4番目）との結果で、日本の教育現場でICT活用が立ち遅れている実態が明らかになりました。一方で、学校におけるICT環境の整備について（教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018（平成30）～2022年度））には、「実物投影機・拡大提示装置の普通教室100%設置」が目標に掲げられており、教育現場でのICT普及促進が喫緊の課題となっております。こうした中、エルモ社では、低予算でICT活用が始められるベーシックモデルのプロジェクター「PD-350XP」の販売を開始いたします。

ベーシックモデルながら3500ルーメンと非常に明るく、教室内のどこからでもはっきりと視認することができます。本プロジェクターと当社の実物投影機とを組み合わせれば、「大きく写す」という最も効果的なICTの活用をすぐに始めることができます。また、当社の後付けインタラクティブ装置「かけるもん」や授業支援ソフト EIT（ELMO Interactive Toolbox）、xSync Classroom など、既存のハード、ソフトウェアを組み合わせることで、多様な活用が可能となります。エルモ社では、ICT活用事例集の発行や活用研修など様々なICT普及活動を行っており、ベーシックプロジェクターの販売と併せ、より一層のICT活用を目指し、支援活動を強化して参ります。

【PD-350XP の特長】

エントリーモデルでも明るく、見やすい

XGA、3500lm で鮮明で明るく、国内の普通教室において高い視認性を確保

小型・軽量

331 x 212 x 118 mm、2.28kg と小型で軽量。小さなスペースに設置可能

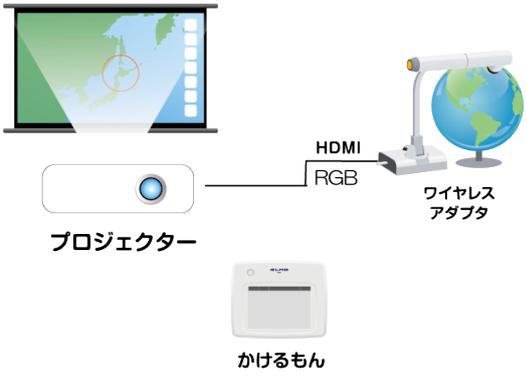
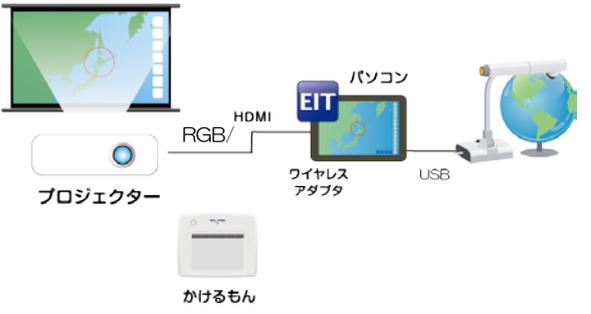
長寿命ランプ

最大 15,000 時間（エコモード時）の長寿命ランプを使用。メンテナンス回数を削減

ローコスト

余分な機能を排除し、基本機能にフォーカスすることでリーズナブルな価格を実現

【エルモ製品との活用例】

<p>プロジェクター投影画面に書き込み</p>  <p>離れたところからは「かけるもん」で</p>	<p>パソコンと組み合わせてデジタル教材も活用</p> 
<p>「かけるもん」と組み合わせれば 映した内容をより焦点化して提示できます</p>	<p>授業支援ソフト EIT や xSync Classroom と組み 合わせてよりインタラクティブに、双方向授業に</p>

- ELMO ロゴは、株式会社エルモ社の登録商標です。
- その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

詳細につきましては、添付資料『株式会社エルモ社 プレスリリース：文教向けベーシックプロジェクター 販売開始のお知らせ PD-350XP（ピーディー 350 エクスピー）』をご参照ください。

以上

文教向けベーシックプロジェクター 販売開始のお知らせ

PD-350XP

(ピーディー 350 エクスピー)

2019年9月 販売開始 オープン価格

テクノホライズングループ(JASDAQ:証券コード 6629)の株式会社エルモ社(本社:名古屋市南区塩屋町1-3-4 代表取締役社長:野村拓伸)は、DLP方式/XGAパネル、3,500ルーメンのベーシックプロジェクター「PD-350XP」を2019年9月から販売を開始いたします。



先般公表された経済協力開発機構(OECD)による「国際教員指導環境調査」(2018年に48カ国・地域の小中学校を対象に調査実施)によれば、ICTを「いつも」または「しばしば」活用している割合は、中学で17.9%(下から2番目)、小学校で24.4%(下から4番目)との結果で、日本の教育現場でICT活用が立ち遅れている実態が明らかになりました。一方で、学校におけるICT環境の整備について(教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018(平成30)~2022年度))には、「実物投影機・拡大提示装置の普通教室100%設置」が目標に掲げられており、教育現場でのICT普及促進が喫緊の課題となっております。こうした中、エルモ社では、低予算でICT活用が始められるベーシックモデルのプロジェクター「PD-350XP」の販売を開始いたします。

ベーシックモデルながら3500ルーメンと非常に明るく、教室内のどこからでもはっきりと視認することができます。本プロジェクターと当社の実物投影機とを組み合わせれば、「大きく写す」という最も効果的なICTの活用をすぐに始めることができます。また、当社の後付けインタラクティブ装置「かけるもん」や授業支援ソフトEIT(ELMO Interactive Toolbox)、xSync Classroomなど、既存のハード、ソフトウェアを組み合わせることで、多様な活用が可能となります。エルモ社では、ICT活用事例集の発行や活用研修など様々なICT普及活動を行っており、ベーシックプロジェクターの販売と併せ、より一層のICT活用を目指し、支援活動を強化して参ります。

【PD-350XPの特長】

エントリーモデルでも明るく、見やすい

XGA、3500lmで鮮明で明るく、国内の普通教室において高い視認性を確保

小型・軽量

331 x 212 x 118 mm、2.28kgと小型で軽量。小さなスペースに設置可能

長寿命ランプ

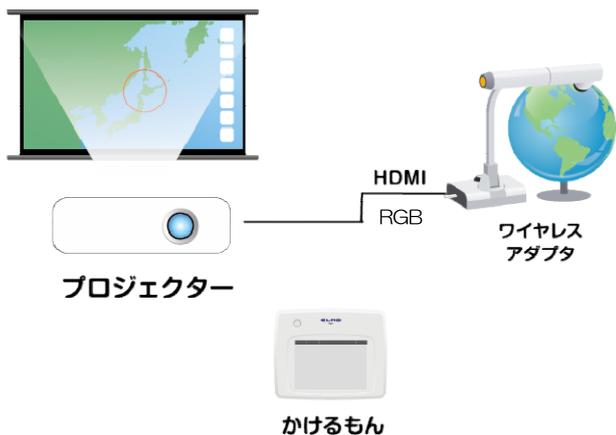
最大15,000時間(エコモード時)の長寿命ランプを使用。メンテナンス回数を削減

ローコスト

余分な機能を排除し、基本機能にフォーカスすることでリーズナブルな価格を実現

【活用例】

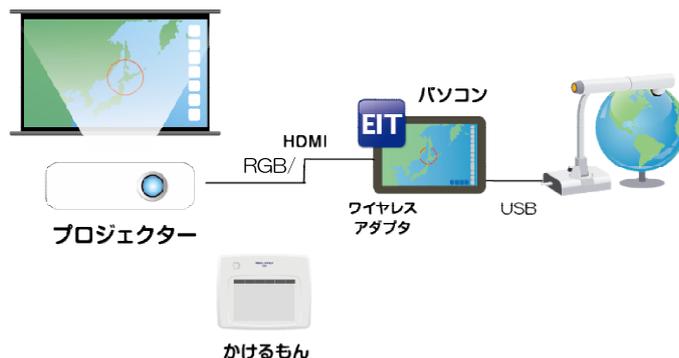
プロジェクター投影画面に書き込み



離れたところからは「かけるもん」で

「かけるもん」と組み合わせれば
映した内容をより焦点化して提示できます

パソコンと組み合わせてデジタル教材も活用



授業支援ソフト EIT や xSync Classroom と
組み合わせてよりインタラクティブに、双方向授業に

【 PD-350XP 仕様 】

方式	DLP
明るさ	3,500lm
解像度	XGA (1024 × 768)
コントラスト比	22000:1
スローレシオ	1.97~2.17
投射距離(50~150inch)	2.0~6.0m
光源	LAMP
台形補正	垂直: ±40°
入力端子	VGA(D-sub 15pin) × 1、HDMI × 1 Video(RCA) × 1、Audio(3.5mini) × 1
出力端子	Audio(3.5mini) × 1 USB(Type A) × 1
制御端子	RS232(D-sub 9pin) × 1 USB(mini B) × 1
投射方式	フロント/リア、デスク/天吊
スピーカー	2W × 1
サイズ	331 × 212 × 118mm
重量	約 2.28kg
ノイズレベル	Typ. 35db/32bB
電源供給	100~240V AC(50/60Hz)
動作消費電力	240W
待機消費電力	0.5W 未満
動作環境温度	0~40°C

- ELMO ロゴは、株式会社エルモ社の登録商標です。 - その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。

-本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

【この件に関するお問合せ先】 株式会社エルモ社 企画開発部

電話:052-811-5138 FAX:052-811-5142 住所:愛知県名古屋市南区塩屋町 1-3-4

e-mail: kikaku@elmo.co.jp

URL: <http://www.elmo.co.jp/products/ps-media-solution.html> (リリース予定)